



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミツバ

コード番号 7280

URL <https://www.mitsuba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 武井 良明 (TEL) 0277-52-0113

四半期報告書提出予定日 2020年2月5日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	233,506	△6.6	6,402	△21.3	5,742	△28.9	△627	—
2019年3月期第3四半期	249,913	1.2	8,136	△26.7	8,073	△34.4	△2,740	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △2,372百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △3,770百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△14.03	—
2019年3月期第3四半期	△61.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	335,812	68,931	15.6
2019年3月期	334,679	72,738	17.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 52,513百万円 2019年3月期 56,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	△4.0	9,000	△17.9	9,000	△16.0	500	—	11.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	45,581,809株	2019年3月期	45,581,809株
2020年3月期3Q	824,134株	2019年3月期	824,079株
2020年3月期3Q	44,757,711株	2019年3月期3Q	44,757,996株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題に伴う不透明感の高まりから、企業の設備投資に対する慎重な姿勢が見られるなど、世界的に景気の減速感が強まりました。米国では個人消費は底堅いものの、設備投資の伸び悩みなど、景気の拡大ペースは緩やかなものとなりました。また、中国においては、米中貿易問題の影響を受けて、GDP成長率が減速傾向で推移しました。一方、我が国の経済は、世界経済の減速懸念から輸出の弱含みのなか、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調となりました。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は中国での売上減少影響もあり、2,335億6百万円（前年同期比6.6%減）、連結営業利益は64億2百万円（前年同期比21.3%減）、連結経常利益は為替の影響等により57億42百万円（前年同期比28.9%減）となりました。連結売上高が減少するなか、生産効率改善活動の強化を推進した結果、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日～2019年12月31日）の売上高営業利益率は4.4%（第2四半期連結累計期間の売上高営業利益率は1.9%）を確保し、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億27百万円（前年同期は27億40百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と改善方向に進みました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業の売上高は2,211億60百万円（前年同期比7.9%減）となり、セグメント利益は51億17百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

情報サービス事業の売上高は117億79百万円（前年同期比25.8%増）となり、セグメント利益は10億14百万円（前年同期は2百万円のセグメント利益）となりました。

その他事業の売上高は47億70百万円（前年同期比5.5%減）となり、セグメント利益は2億60百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、3,358億12百万円（前連結会計年度末3,346億79百万円）となり、11億32百万円増加しました。流動資産は1,798億53百万円となり71億9百万円減少し、固定資産は、1,559億59百万円となり82億41百万円増加しました。

流動資産は、現金及び預金が39億91百万円減少したことが主な要因です。固定資産は、有形固定資産が79億44百万円増加したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,668億80百万円（前連結会計年度末2,619億41百万円）となり、49億39百万円増加しました。流動負債は、1,259億16百万円となり12億64百万円増加し、固定負債は1,409億63百万円となり36億75百万円増加しました。

流動負債は、短期借入金が72億78百万円増加したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金が26億62百万円増加したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、689億31百万円（前連結会計年度末727億38百万円）となり、38億6百万円減少しました。これは為替換算調整勘定の減少が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ22億73百万円減少し558億22百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、90億48百万円（前年同期は17億11百万円）となりました。この主な要因は、売上債権の減少額27億72百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、191億76百万円（前年同期は210億58百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出206億65百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動で得られた資金は、85億69百万円（前年同期は16億94百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入162億50百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）連結業績予想につきましては、2019年11月6日に発表しました予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,672	57,681
受取手形及び売掛金	53,386	49,468
有価証券	99	99
商品及び製品	12,748	12,500
仕掛品	6,801	5,579
原材料及び貯蔵品	30,568	31,069
その他	21,714	23,557
貸倒引当金	△29	△103
流動資産合計	186,962	179,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,917	77,332
減価償却累計額	△45,291	△47,524
建物及び構築物(純額)	29,626	29,807
機械装置及び運搬具	150,841	157,073
減価償却累計額	△112,108	△114,081
機械装置及び運搬具(純額)	38,732	42,992
工具、器具及び備品	53,114	53,273
減価償却累計額	△47,635	△47,513
工具、器具及び備品(純額)	5,479	5,759
土地	7,455	8,020
リース資産	6,004	6,149
減価償却累計額	△2,693	△2,780
リース資産(純額)	3,310	3,369
建設仮勘定	21,107	23,707
有形固定資産合計	105,712	113,656
無形固定資産		
ソフトウェア	1,786	1,785
ソフトウェア仮勘定	229	151
その他	1,965	1,955
無形固定資産合計	3,981	3,893
投資その他の資産		
投資有価証券	18,593	18,654
長期貸付金	2,263	2,276
繰延税金資産	2,425	2,210
長期前払費用	2,569	1,902
退職給付に係る資産	10,613	11,808
その他	1,572	1,569
貸倒引当金	△15	△12
投資その他の資産合計	38,023	38,409
固定資産合計	147,717	155,959
資産合計	334,679	335,812

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,062	26,254
短期借入金	59,277	66,556
未払金及び未払費用	21,893	19,719
未払法人税等	1,791	1,843
賞与引当金	4,725	2,203
役員賞与引当金	81	32
製品保証引当金	1,865	1,427
和解金等引当金	825	825
その他の引当金	979	11
その他	7,148	7,044
流動負債合計	124,652	125,916
固定負債		
社債	—	1,150
長期借入金	122,932	125,594
長期末払金	456	263
繰延税金負債	6,789	6,795
退職給付に係る負債	1,638	1,894
その他	5,471	5,265
固定負債合計	137,288	140,963
負債合計	261,941	266,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,572	15,447
利益剰余金	36,096	34,752
自己株式	△602	△602
株主資本合計	60,951	59,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	591
為替換算調整勘定	△4,265	△7,103
退職給付に係る調整累計額	△380	△457
その他の包括利益累計額合計	△3,980	△6,969
非支配株主持分	15,767	16,418
純資産合計	72,738	68,931
負債純資産合計	334,679	335,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	249,913	233,506
売上原価	215,552	203,916
売上総利益	34,361	29,590
販売費及び一般管理費	26,224	23,187
営業利益	8,136	6,402
営業外収益		
受取利息	587	446
受取配当金	438	456
持分法による投資利益	809	676
その他	882	843
営業外収益合計	2,717	2,423
営業外費用		
支払利息	1,213	1,414
為替差損	991	748
その他	575	920
営業外費用合計	2,780	3,083
経常利益	8,073	5,742
特別利益		
固定資産売却益	50	32
投資有価証券売却益	69	21
その他	12	17
特別利益合計	133	71
特別損失		
固定資産除却損	143	282
減損損失	12	27
取引調査関連損失	268	93
和解金	2,416	—
和解金等引当金繰入額	1,800	275
その他	225	98
特別損失合計	4,866	778
税金等調整前四半期純利益	3,340	5,036
法人税等	4,638	4,107
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,298	928
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,442	1,556
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,740	△627

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,298	928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,456	△64
為替換算調整勘定	114	△3,207
退職給付に係る調整額	△11	△100
持分法適用会社に対する持分相当額	△118	70
その他の包括利益合計	△2,472	△3,301
四半期包括利益	△3,770	△2,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,843	△3,616
非支配株主に係る四半期包括利益	1,073	1,243

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,340	5,036
減価償却費	12,600	11,562
受取利息及び受取配当金	△1,026	△903
支払利息	1,213	1,414
持分法による投資損益(△は益)	△809	△676
有形固定資産売却損益(△は益)	△41	△21
売上債権の増減額(△は増加)	5,395	2,772
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,031	△28
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,704	1,154
その他	△1,426	△4,323
小計	9,510	15,986
利息及び配当金の受取額	1,137	830
利息の支払額	△1,075	△1,229
独禁法違反に係る罰金の支払額	△2,399	—
和解金の支払額	△1,497	△3,018
法人税等の支払額	△3,964	△3,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,711	9,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,737	△20,665
有形固定資産の売却による収入	532	584
投資有価証券の取得による支出	△44	△299
貸付けによる支出	△1,842	△1,703
貸付金の回収による収入	2,314	1,542
その他	1,718	1,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,058	△19,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	342	2,903
長期借入れによる収入	21,394	16,250
長期借入金の返済による支出	△20,601	△8,767
配当金の支払額	△716	△716
非支配株主への配当金の支払額	△511	△713
その他	△1,601	△388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,694	8,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△636	△715
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21,677	△2,273
現金及び現金同等物の期首残高	76,278	58,096
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,224	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,824	55,822

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の海外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

IFRS第16号の適用により、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社では主に定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、グループ会計方針の統一及び、より適正な期間損益計算の観点から減価償却方法について再検討したところ、過去の投資及び使用実績、将来の投資及び使用計画等から、有形固定資産は耐用年数内で長期安定的に稼働することが見込まれることにより、定額法を採用することが有形固定資産の実態をより適正に反映する合理的な方法であると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10億6百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	239,629	7,539	2,744	249,913	—	249,913
セグメント間の内部売上高又は振替高	448	1,822	2,305	4,576	△4,576	—
計	240,078	9,362	5,049	254,489	△4,576	249,913
セグメント利益	7,785	2	375	8,163	△27	8,136

(注) 1. セグメント利益の調整額△27百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	220,750	9,862	2,893	233,506	—	233,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	409	1,917	1,876	4,203	△4,203	—
計	221,160	11,779	4,770	237,710	△4,203	233,506
セグメント利益	5,117	1,014	260	6,393	8	6,402

(注) 1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社では主に定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「輸送用機器関連事業」で9億72百万円、「情報サービス事業」で23百万円、「その他事業」で10百万円、それぞれ増加しております。